

# 市立大町山岳博物館 付属園

1953年（昭和28年）開園

付属園は貴重な野生動物を守って増やしたり、調査研究をしたりしながら、北アルプスの山麓から高山までの生きものを飼育・栽培しています。  
また、さまざまな理由で野生では生活できない動物を保護し、野生復帰にも努めています。

## ニホンカモシカ

1956(昭和31)年2月に保護されたニホンカモシカが入園し、以降、飼育や繁殖を進めています。1973(昭和48)年にはジャイアントパンダの返礼に山岳博物館のニホンカモシカが中国へ贈られました。またオーストリアのアルプス動物園にも贈っています。



## ライチョウ

1963(昭和38)年にライチョウの飼育を開始し、その後、断続的に飼育・繁殖をしてきましたが、2004(平成16)年に途絶えてしまいました。2015(平成27)年から近縁種のスバルバルライチョウの飼育を開始し、そして近い将来、日本産のライチョウを飼育する準備を進めています。



## 付属園でのイベント

「付属園まつり」では、写生大会、スタンプラリー、動物観察ツアー、ニホンカモシカをモチーフにした大町市のマスコットキャラクター「おおまびょん」と遊ぼうなどを開催しています。開催時期や内容はお問い合わせください。



**飼育動物数** 哺乳類4種10点、鳥類9種25点  
計13種35点(2016年7月1日現在)

**住所** 〒398-0002 長野県大町市大町 8056-1

**電話** 0261-22-0211 **FAX** 0261-21-2133

**E-mail** sanpaku@city.omachi.nagano.jp

**URL** <http://www.omachi-sanpaku.com>

**入園料** 付属園のみは無料

**休園日** 年末年始(12月29日～1月3日)のほか、臨時休園あります。お問い合わせください。

※山岳博物館の見学は大人400円、高校生300円、小中生200円

※山岳博物館の休館日は月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日、

年末年始(12月29日～1月3日)、なお7月と8月は無休